

2026年5月12日

東京都知事
小池 百合子 様

東京都議会立憲民主党・ミライ会議・
生活者ネットワーク・無所属の会
幹事長 竹井 ようこ

中東情勢に伴う中小企業等への支援を求める緊急要望

現在、中東情勢の悪化を背景に、中小零細企業をはじめ、多くの都民から深刻な窮状を訴える声が寄せられています。

とりわけ、原油・ナフサを原料とする資材等の価格高騰や供給停止・供給遅延の影響は深刻であり、電気製品、住宅設備、衣料品、医薬品、食品パッケージなど幅広い分野に及んでいます。現場からは、「商売に欠かせないシンナーやボンドが入手できず、在庫が底を尽きそうだ」「弁当容器が入手困難となり、このままでは廃業の危機だ」「局所麻醉薬・製品が入手困難になっている」など、切実な声が上がっています。

また、都内の建設事業者や工務店からも、「建設工事の見積もりができない」「材料が入らず工期の見通しが立たない」といった深刻な声が寄せられています。

特に東京においては、住宅建設や住宅リフォーム需要の規模が大きいことから、資材価格の高騰や供給停滞が長期化すれば、都民生活のみならず、中小事業者や工務店等の経営にも重大な影響を及ぼしかねません。

こうした現場の実態を踏まえ、東京都は中小企業等への支援を早急に行うべきあり、以下の対策を強く求めます。なお、必要に応じ補正予算案の編成に取り組むことを要望します。

記

1. 窮地に立たされている中小企業を支援するため、中小企業制度融資における無利子・無担保のつなぎ融資や融資の要件緩和、返済条件の柔軟化、相談体制の強化等、緊急の経営支援策を講じること。
2. 東京都発注工事等において、建設・関連資材の価格高騰や供給遅延が生じた場合には、設計変更、契約変更、工期延長等に関する受注者からの申し出を丁寧に受け止め、迅速かつ柔軟に対応すること。
また、資材価格の高騰や供給制約の実態、便乗値上げや買い占めが疑われる事例の有無等について把握に努め、中小事業者等が活用しやすい形で情報提供を行うこと。
3. 建設・関連資材の流通の目詰まり解消に向け、メーカー、流通業者、業界団体、国の関係機関等との情報共有を強化し、状況把握と供給安定化に努めること。
4. 住宅及び住宅リフォーム価格の高騰を見据え、都民及び事業者向けの相談体制を強化すること。
5. 国に対し、原油・ナフサを原料とする建設・関連資材の供給安定化及び価格高騰対策、中小企業への持続化補助金の新たな枠の設定による支援などを速やかに講じるよう、強く要請すること。

以上

2026年5月12日

東京都知事
小池 百合子 様

東京都議会立憲民主党・ミライ会議
・生活者ネットワーク・無所属の会
幹事長 竹井 ようこ

「はしか（麻疹）」の感染拡大に関する緊急要望

都内東京都内で「はしか（麻疹）」の感染が拡大しており、2026年5月時点の報告数は過去10年で最多のペースとなっています。

都内の累計感染者数も211人に達し（5月8日時点）、すでに過去10年間で最多の感染者数を記録した2019年の年間報告数を大きく上回っており、全国の累計感染者数436人のうち東京都だけで約半数を占めるという状況です。

新宿区の小学校では、学年閉鎖が行われるなど、集団感染も確認されています。

また、感染経路として、海外渡航歴のない「国内感染」が7割を占め、身近な場所での感染リスクが高まっています。

はしかは、インフルエンザの約10倍という極めて強い感染力を持ち、空気感染するためマスクや手洗いだけでは防ぐことができず、感染が疑われる場合は、公共交通機関の利用を避けることや受診の際は事前に医療機関に連絡することが推奨されていますが、多くの都民が、そのことを十分理解しているとはいえません。

小池知事も、5月8日の定例会見で「迅速に対応するために具体的な対策の検討について指示をした」「必要があれば、補正予算の編成を含めてこれから検討を進めていく」と述べられたところであり、その対策は急務であると考えます。

そこで、はしかに関する啓発をはじめ、MRワクチンの定期接種推進や抗体検査・ワクチン接種の公費助成強化、医療機関への注意喚起など、はしかの感染拡大防止に向けた総合的な対策を、補正予算の編成も含めて、早急を実施することを強く要望いたします。

以 上